



AVN-LS04/AVN-LS04W

メモリーナビゲーション内蔵 DVD/Bluetooth®/地上デジタルTV
7型WVGA AVシステム



取扱説明書

オーディオ編

お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになった後も必要なときにすぐご覧になれるよう大切に保管してください。

お買い上げいただき、ありがとうございます

お客さまや他の人々の安全や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたいことを次のように表記します。

⚠ 警告 … 人が死亡または重傷を負う可能性がある内容

⚠ 注意 … 人が傷害を負う可能性がある内容

⚠ 重要 … 機器の故障や破損を防ぐために
守っていただきたい内容

- ◆ 製品に添付されている各種説明書は必ずお読みください。
指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- ◆ 取扱説明書で使用している画面と実際の画面はデータの作成時期・種類等によって異なることがあります。
- ◆ 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合があります。
あらかじめご了承ください。

クイックガイド ～このナビでできること～

ナビゲーションの基本操作や、目的地案内などの基本的な操作を記載しています。
まずはじめに、お読みください。



さまざまな機能の設定についてはこちら

17



ナビゲーション機能についてはこちら

「取扱説明書 **ナビゲーション編**」を
ご参照ください。



オーディオ機能についてはこちら

35



電話の操作についてはこちら（ハンズフリー機能）

49



外部機器についてはこちら

55



知っておいて頂きたい参考情報を記載しています

61



01 目次

安全上のご注意.....	4
ナビゲーション本体についてのご注意.....	4
本書の見方.....	7

クイックガイド ➡ P.8

まず、はじめに.....	8
電源を入れる.....	8
本体について.....	8
ステータスバーについて.....	9
TILT / EJECT 画面について.....	9
画面を消す.....	9
メディアの出し入れ.....	10
画面を操作する.....	11
初期設定.....	13
メニュー画面.....	14
設定画面.....	15

設定 ➡ P.17

ディスプレイ・画面を設定する.....	18
ディスプレイの角度を調整する.....	18
画質を設定する.....	18
背景を設定する.....	19
二画面で表示する.....	19
音量を設定する.....	20
オーディオの音量を調整する.....	20
スイッチの操作音の ON/OFF を切り替える.....	21
音声案内の音量の ON/OFF を切り替える.....	21
ハンズフリーの音量を調整する.....	21
オーディオの設定を変更する.....	22
テレビのホームプリセットを設定する.....	22
DVD 初期設定を変更する.....	23
音質を調整する.....	24
Bluetooth 機器を設定する.....	26
Bluetooth 機能について.....	26
Bluetooth 機器をペアリングする.....	26
Bluetooth 機器の接続を管理する.....	27
Bluetooth 機器の接続を切る.....	27
外部機器を設定する.....	28
バックカメラを設定する（別売）.....	28
ステアリングスイッチを設定する.....	29
言語を設定する.....	33
設定を初期化する.....	34

オーディオ ➡ P.35

ラジオを聞く.....	36
ラジオを聞く.....	36
音楽ディスクを聞く.....	37
音楽ディスクを聞く.....	37
DVD を見る.....	39
操作画面（VIDEO モード）.....	39
操作画面（VR モード）.....	41
テレビを見る.....	42
緊急警報放送（EWS）を受信した場合は.....	42
こんなメッセージが表示されたときは.....	42
テレビを見る.....	43
各機能スイッチを操作する.....	44
AUX を聞く.....	46
Bluetooth オーディオを聞く.....	47
Bluetooth 機器を接続する.....	47
操作画面.....	48

電話を使う（ハンズフリー） ➡ P.49

ハンズフリー接続する.....	50
ハンズフリーについて.....	50
電話帳データについて.....	52
携帯電話の電話帳データ転送について.....	52
電話をかける・切る・受ける.....	53
電話をかける.....	53
電話を切る.....	53
電話を受ける.....	53
着信中・通話中画面.....	54
操作画面（着信中）.....	54
操作画面（通話中）.....	54

外部機器をつなげる ➡ P.55

バックカメラを使う.....	56
バックカメラについて.....	56
ガイド線の ON / OFF を切り替える.....	57
ステアリングスイッチを使う.....	58
オーディオ・ハンズフリー機能共通の操作.....	58
オーディオ機能の操作.....	58
ハンズフリー機能の操作.....	59

ご参考 ➡ P.61

対応メディア・データの仕様.....	62
再生できる圧縮ファイルと対応メディア	62
再生できる圧縮ファイルの仕様について	63
ディスクの仕様.....	65
Bluetooth の仕様.....	68
知っておいていただきたいこと.....	69
本機で使用するデータについて.....	69
免責事項	69
再生時の注意事項について	70
液晶パネルについて	70
電装品の使用について	70
Bluetooth 機器使用上の注意事項について ...	70
ディスクの取り扱いについて.....	71
個人情報情報を消去する方法について.....	71
お手入れについて.....	72
本機のお手入れについて	72
アンテナのお手入れについて.....	72
バッテリーの交換について.....	73
バッテリーの交換について	73
商標・著作権について	74
商標について.....	74
著作権について.....	75
お問い合わせ先について.....	76
修理に関するお問い合わせ	76
メールでのお問い合わせ	76
故障とお考えになる前に	76
VICS・ITS スポットのお問い合わせ先について...	77
仕様.....	78
さくいん.....	80

ナビゲーション本体についてのご注意

⚠ 警告

- **本機は DC12V ⊖アース車専用です**
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車で使用しないでください。
火災の原因となります。
- **取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子を外してください**
プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電やケガの原因となります。
- **実際の交通規則にしたがって走行してください**
ナビゲーションによるルート案内のみにしたがって走行すると
実際の交通規則に反する可能性があり、交通事故の原因となります。
- **運転者は走行中に操作をしないでください**
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。交通事故の原因となります。
- **本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください**
交通事故の原因となります。禁止された場所に駐・停車することは法律で禁止されています。
- **運転者は走行中に画面を注視しないでください**
前方不注意となり事故の原因となります。
運転者が走行中に画面を注視することは法律で禁止されています。
- **運転者は走行中にテレビやビデオを見ないでください**
前方不注意となり事故の原因となります。テレビやビデオは安全のため、走行中は表示されません。テレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させて、パーキングブレーキをかけてください。
- **運転者は走行中に携帯電話（スマートフォン）や外部入力機器を操作しないでください**
交通事故の原因となります。運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。
- **運転中は、安全運転の妨げにならない音量に設定してください**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- **ディスクや microSD カードの差し込み口に異物を入れないでください**
火災や感電の原因となります。
- **本機を分解したり、改造したりしないでください**
事故、火災、感電の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れないでください**
発煙、発火、感電の原因となります。
- **故障や異常の状態のまま使用しないでください**
次のような異常が発生した場合、ただちに使用を中止し、販売店に相談してください。
・音が出ない ・水がかかった ・煙が出る ・変な匂いがする ・音声割れる、ゆがむ
事故、火災、感電の原因となります。
- **雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください**
落雷により感電の危険性があります。

警告

- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 取り付け場所を変更するときは、安全のためお求めの販売店へ依頼してください
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。誤った取り扱いをすると、
火災や故障の原因となります。
- 接続したポータブルオーディオや接続コードを、SRS エアバッグの展開を
妨げるような場所に設置しないでください
SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRS エアバッグが展開したときに
ポータブルオーディオが飛ばされたりするなど、死亡・重傷に至ることがあります。
SRS エアバッグ展開場所については、車の説明書をご覧ください。
- ポータブルオーディオや接続コードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、
または邪魔にならない場所で固定してください
運転に支障をきたし、交通事故の原因となります。
- 接続したコードや使用しないコードの先端等、被覆がない部分は絶縁テープ等で
絶縁してください
ショートにより火災、感電の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻きつくと事故の原因となり危険です。
- 取付作業後は、車両の動作確認を必ずおこなってください
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

注意

- 本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
誤った配線をした場合、車両に重大な支障をきたす場合があります。
- 本機に強い衝撃を与えないでください
故障の原因となります。
- ディスク差し込み口に手や指を入れないでください
ケガの原因となることがあります。
- ディスプレイの角度調整時や収納時に、手や指を挟まないようにご注意ください
ケガや故障の原因となります。
- 可動部やディスク差し込み口に手や指を入れないでください
特に、ディスプレイの角度調整の際にご注意ください。ケガの原因となります。
- 落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えないでください
故障や火災の原因となります。
- ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください
そのまま放置しておくと、故障の原因となります。
- ディスプレイを手で閉じないでください
ディスプレイが損傷するおそれがあります。

⚠ 注意

- ディスプレイを開けたときに、ディスプレイの上にコップや缶などの物を置かないでください
ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- メディアを出し入れするとき以外はディスプレイを閉じてください
熱やホコリにより、故障の原因となることがあります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください
放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- エンジンをかけた状態でご使用ください
バッテリー上がりの原因となります。
- 本機を車載用途以外には使用しないでください
発煙や発火、感電、ケガの原因となります。
- 電源 ON 時は、音量に注意してください
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります
とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 携帯電話などの外部機器やメディアを車内に放置しないでください
直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形、変色したり、故障したりするおそれがあります。
- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、フィルムアンテナの給電部が黒セララインまたは黒セラドットパターンから 25 mm 以内に収まるよう貼り付けてください
- 接続コードを本機に接続する前にアースコードを車両側に必ず接続してください
スピーカー端子や配線がショートしている場合、故障の原因となります。

⚠ 重要

- ディスプレイを開けるときは、本機がシフトレバーに当たらないように、切り替えてから操作してください。
- ディスプレイの角度を調整するときは、シフト操作の妨げにならない位置に設定してください。
- 接続コードや外部入力機器に手や足などを引っ掛けたりしないよう注意してください。
接続コードや外部入力機器の破損につながるおそれがあります。

03 本書の見方

各スイッチの操作を次のように表記します。

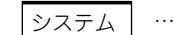


タッチスイッチ（画面に表示されるスイッチ）



パネルスイッチ（パネルに配置されたスイッチ）

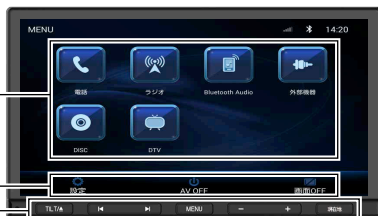
※本書では、AVN-LS04 のパネルスイッチで説明しています。



タブスイッチ（画面に表示されるスイッチ）



タッチスイッチ（画面に表示されるスイッチ）



04 Bluetooth 機器を設定する

操作の前に

準備や条件など、操作する前に
知っておいていただきたいこと

操作手順

操作手順はスイッチを並べて表記します。

(例)  →  →  → 

ワンポイント

機能の仕様やアドバイスなど
知っておいていただきたいこと

Bluetooth 機能について

- 緑色の矢印
● 使用できる Bluetooth 機器の仕様については、「Bluetooth の仕様」(→ P.68) をご覧ください。

Bluetooth の無線通信機能を使って、次の機能を利用できます。

<ハンズフリー>

Bluetooth 対応のスマートフォンや携帯電話を直接操作せずに、電話機能を使用できます。(→ P.50)

※本書では、ハンズフリーに使用する Bluetooth 機器を「携帯電話」の名称で記載します。

<Bluetooth Audio>

Bluetooth 機器に収録されている音楽を再生できます。(→ P.47)

- 各機能をご利用いただくには、Bluetooth 機器（スマートフォン、携帯電話、ポータブル機器など）を本機に登録し、接続する必要があります。

ワンポイント

- 何かが接続履歴がある状態で本機を起動した場合、接続履歴の新しい順に自動接続します。
- 端末により表示内容が異なることがあります。あらかじめご了承ください。
- 動作確認済の携帯電話の機種については、ECLIPSE ホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「Bluetooth 携帯電話連携情報」(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/>)

Bluetooth 機器をペアリングする

本機には、最大 9 台まで接続履歴が残ります。

操作手順

 →  → Bluetooth

Bluetooth 機器を操作し、本機と接続可能な状態にする

ペア設定する にタッチする

- Bluetooth 機器側からでもペア設定することができます。



ペアリングが完了すると「接続機器」に Bluetooth 機器名が表示される



 をタッチすると本機とのペアリングが解除され、Bluetooth 機器名が「接続履歴」に表示される

まず、はじめに

電源を入れる



エンジンスイッチを
ACC または ON にする

エンジンスイッチを
OFF (LOCK) にすると、
本機の電源が切れます。



ワンポイント

- エンジンスイッチが ON の状態では、本機の電源を切ることができません。

◆オープニング画面



プログラム読み込み画面→
オープニング画面の順に
表示されます。
プログラム読み込み画面
表示中は、本機を操作
しないでください。



ワンポイント

- 初回起動には約 40 秒
かかりますが、故障
ではありません。

前回、最後に表示してい
た画面が表示されます。
※初めて電源を ON にした
ときはラジオ画面が表示
されます。

本体について

◆ AVN-LS04



① ② ③ ④ ⑤ ⑥

① リセット穴

先端が尖っているものでこの穴を押すと、
バッテリー交換時と同じ様に本体内情報
が一部初期化されます。(→ P.73)

※ Bluetooth 通話時とバックカメラ画面
のときはメインメニューに戻りません。

② TILT/▲

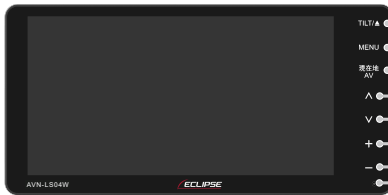
- ・ディスプレイの角度を調整 (→ P.18)
- ・メディアの出し入れ (→ P.10)
- ・ディスプレイを閉じる (→ P.10)

③ (AVN-LS04)

▲ ▼ (AVN-LS04W)

- ・ラジオやテレビの選局
- ・CD の選曲

◆ AVN-LS04W



② ④ ⑥ ③ ⑤ ①

④ MENU

- ・メニュー画面を表示
- ・ディスプレイを閉じる (→ P.10)

⑤ - +

オーディオやハンズフリーの音量を調整

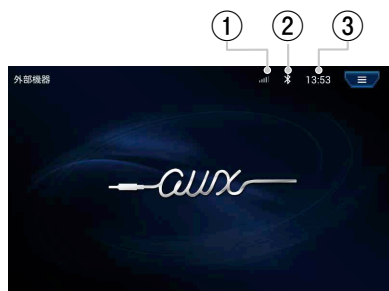
⑥ 現在地 (AVN-LS04)

現在地 AV (AVN-LS04W)

- ・現在地を表示 (→ P.14)
- ・Bluetooth 通話画面で押すと、ナビの
現在地画面を表示



ステータスバーについて



- ① 携帯電話の受信レベル
Bluetooth 接続している携帯電話の受信レベルをアンテナの本数で表しています。
- ② Bluetooth の接続状態
 - ・  : Bluetooth が接続されているとき
 - ・  : Bluetooth が接続されていないとき (トーンダウン) (Bluetooth 機能は ON)
 - ・ 非表示 : Bluetooth 機能が OFF のとき
- ③ 現在の時刻
GPS から時刻情報を取得し、表示します。

TILT / EJECT 画面について



- ① DISC を挿排するときにタッチ
 - ・ DISC が挿入された後は自動でディスプレイが CLOSE されますのでご注意ください。
 - ・ DISC 挿入状態のときアイコンはトーンダウンし、未挿入状態のときトーンアップします。
- ② 地図専用 microSD カードを挿排するときにタッチ
 - ・ 地図専用 microSD カード挿入状態のときアイコンはトーンダウンし、未挿入状態のときトーンアップします。
- ③ ディスプレイを CLOSE させるときにタッチ

TILT/▲

 または

MENU

 スイッチを押してもディスプレイを CLOSE させることができます。

画面を消す

MENU

 →

画面OFF

 をタッチ

●

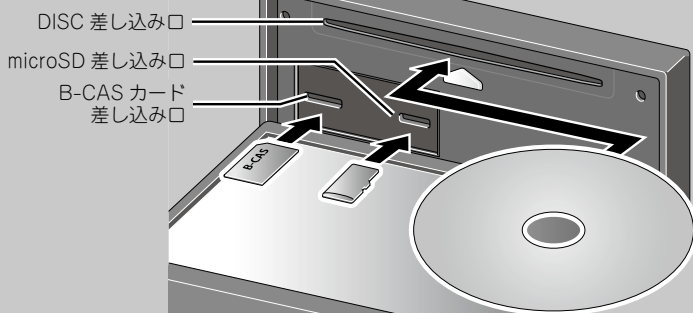
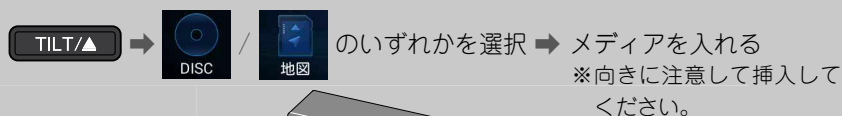
現在地

 /

MENU

 のいずれかを押すと画面を再表示します。

メディアの出し入れ



ワンポイント

- ディスプレイが OPEN のとき、閉じる場合は **Close** を押してください。(→ P.9)
- 地図専用 microSD カードおよび B-CAS カードの抜き差しをおこなう際、必ず本機の電源を OFF にしてから抜き差しをおこなってください。本機の電源を ON にしたまま、抜き差しをおこなうとデータが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

- メディアの差し込み途中に、**Close**、**TILT/▲**、**MENU** を押さないようご注意ください。ディスプレイが閉じ、手や指を挟むおそれがあります。
- 本機からメディアを取り出すときは水平方向に引き出してください。ディスクに傷がつき、音とびしたり、B-CAS カードや地図専用 microSD カードが破損したりするおそれがあります。
- メディアを取り出す際には必ず取り出す対象のスイッチを押してください。データが破損するおそれがあります。

⚠ 重要

- メディアが押し出された状態のままディスプレイを閉じないでください。本機およびメディアが破損するおそれがあります。
- 地図専用 microSD カードの抜き差しは、電源を OFF にした状態でおこなってください。
- microSD 差し込み口に同梱の地図専用 microSD カード以外の microSD カードを挿入しないでください。
- 地図専用 microSD カードのフォーマット（初期化）はおこなわないでください。フォーマットをおこなうとナビ機能が使用できなくなります。

画面を操作する

⚠ 重要

- 画面保護のため、指でタッチしてください。
- ボールペンの先など、先端の硬いものや、とがったもので操作しないでください。故障の原因となります。
- 本機のタッチパネルは静電容量方式を採用していますので、使用時は下記にご注意ください。
 - ・手袋などを着用して操作したり、市販のフィルム等を貼ったりすると、反応しなくなることがあります。
 - ・タッチパネルが濡れた状態もしくは指が濡れた状態では、タッチスイッチが正常に動作しない場合があります。動作異常が起きた場合は、濡れた部分を拭き取り、エンジンスイッチを OFF (LOCK) にし、再度エンジンスイッチを ACC または ON にしてください。
- 本機の近くで強力な電気のノイズを発生する電気機器を使用すると、その影響でタッチ操作不能などの異常が発生する場合があります。その場合、電気機器を遠ざけるか、使用を控えてください。
例) インバータ、イオン発生器など

■ 操作条件について

走行中は安全上の配慮から操作できない機能があります。

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作をおこなってください。

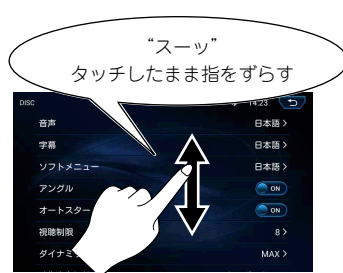
- 操作できないスイッチは色が変わり、選択することができません。

■ タッチ操作



- 画面に表示されるタッチスイッチおよびタブスイッチは、タッチ操作で操作してください。
- 地図画面でタッチ操作すると、タッチした場所が画面の中心となるように地図が動きます。

■ スライド操作



- 画面にタッチしたまま指をずらすと、指の動きにあわせて、画面が動きます。

まず、はじめに

フリック操作



- 画面にタッチし指を軽くはじくように払うと、払った方向に画面が動きます。

ドラッグ操作



- 画面にタッチしたままなぞると、指の動きに合わせて、画面が動きます。

ピンチ操作



- 画面に2本の指をタッチしたまま広げる（ピンチアウト）と、地図が拡大し、狭める（ピンチイン）と、地図が縮小します。

初期設定

まずはじめに、
ナビの操作に必要な初期設定をおこないます。

オープニング画面が表示されたあと
下記手順 1 へ進んでください。
(はじめに設定しなくてもナビを使えます。)
初期設定で設定しなかった項目は
設定画面(→ P.15)からも設定す
ることができます。

1 車両情報の設定



① 現在地 → メニュー → ナビ設定 → 車両情報設定 にタッチ。

② 各項目を入力。

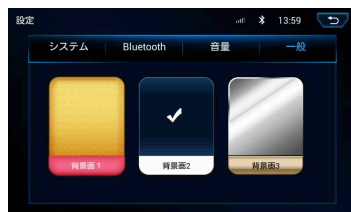
2 ステアリングスイッチの設定



① MENU → 設定 → システム
ステアリングスイッチ にタッチ。
● 設定方法は、(→ P.29)を
参照してください。

② 学習 にタッチ。

3 背景画の設定



① MENU → 設定 → 一般
背景画切替 にタッチ。
● 設定方法は、(→ P.19)を
参照してください。

② はい にタッチ。
● 別売のバックカメラが接続され
ている場合は、手順 4 へ

4 バックカメラの設定

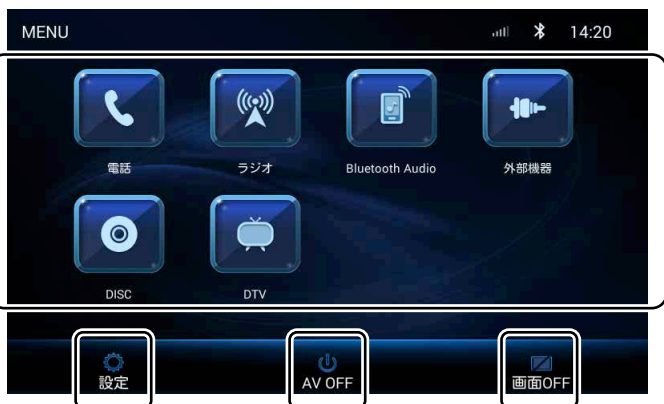
バックカメラの設定をする際は、
安全な場所に停車し、パーキン
グブレーキをかけた状態で作業
をおこなってください。



① シフトギアを「R」に入れる。
② 画面をタッチし、「ガイド線調整」
スイッチを表示させる。
③ ガイド線調整 にタッチ。
● 設定方法は、(→ P.28)を
参照してください。
④ 設定 にタッチ。

メニュー画面

MENU を押す



⇒ P.15

オーディオを
OFF（消音）する
※ この画面では、「MENU」と
「現在地」スイッチのみ機能します。

画面を OFF にする
※ オーディオはバック
グラウンドで動作しています。

オーディオメニュー

各オーディオソース画面を表示します。



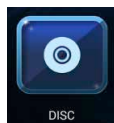
電話をかける・切る・受ける
(→ P.53)



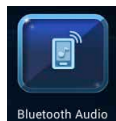
ポータブル機器を再生
(→ P.46)



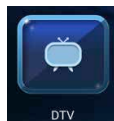
ラジオを受信
(→ P.36)



音楽ディスク / DVD を再生
(→ P.37)
(→ P.39)



Bluetooth 機器に収録した
音楽を再生 (→ P.47)



テレビを受信
(→ P.42)

現在地



メニュー をタッチ



ワンポイント

地図画面表示中に「現在地」スイッチを長押しすると元のオーディオソース画面を表示します。

ナビゲーションメニュー

さまざまな方法で目的地を検索・設定します。

ナビゲーションについては、「取扱説明書 [ナビゲーション編](#)」をご参照ください。

設定画面

MENU



にタッチ

◆メニュー画面



◆設定画面



システム

ステアリングスイッチ	→ P.29
システムアップデート	使用しません
工場出荷時設定	→ P.34
バージョン情報	バージョン確認

Bluetooth

接続機器	→ P.26
接続履歴	→ P.27

音量

操作音	→ P.21
ナビ音声	→ P.21

一般

背景画切替	→ P.19
言語設定	→ P.33
画質調整	→ P.18



クイックガイド

設定



01 ディスプレイ・画面を設定する

ディスプレイの角度を調整する

操作手順

TILT/▲ → お好みの角度を 7 段階で調整する

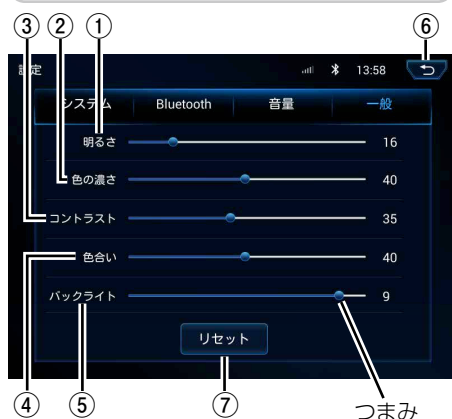


番号	機能
①	お好みの角度(「0」～「+6」)を選択し調整します。

画質を設定する

操作手順

MENU → **設定** → **一般** → **画質調整** → **システム画質調整** → つまみをスライド / タッチし調整する → 調整が終わったら **戻る** をタッチする



番号	機能
①	明るさを調整します。
②	色の濃さを調整します。
③	コントラストを調整します。
④	色合いを調整します。
⑤	バックライトの明るさを調整します。
⑥	設定を完了します。
⑦	調整した値を初期値に戻します。



ワンポイント

- **リセット** をタッチすると、各パラメーターが初期設定値に戻ります。**リセット** は画面を下へスクロールして表示させてください。
- **画質調整** の後に **ナビ画質調整** をタッチすると、地図画面の画質を設定することができます。

背景を設定する

メニュー画面の背景を変更できます。

操作手順



ワンポイント

- 各背景画をタッチしたあと、**はい** をタッチすると、再起動が始まり、再起動後に設定が反映されます。再起動には約 40 秒かかります。
- 背景の変更は、言語が日本語に設定されているときのみ変更できます。言語が日本語以外に設定されている場合は、背景を変更することはできません。

二画面で表示する

DVD やテレビなどの映像と地図画面を二画面で表示することができます。

操作手順



番号	機能
①	タッチすると、映像を全画面で表示します。 現在地 スイッチを押すと、「ナビ+AV」画面に戻ります。
②	タッチすると、地図画面を全画面で表示し、カーソル位置の地点情報を画面下に表示します。
③	：2画面モードを解除し、全画面にナビを表示します。 ：「ナビ+AV」画面に切り替えます。



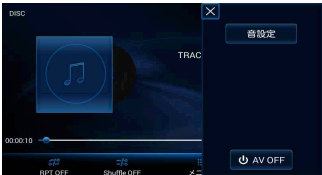
設定

オーディオの音量を調整する

操作手順

、または  を押す



番号	機能
①	音量を調整します。
②	タッチすると、機能画面を表示します。  ・ 音設定：音質を設定することができます。(→ P.24) (→ P.25) ・ AV OFF：オーディオを OFF (消音) します。 ※オーディオ・映像画面のときにタッチすると、AV を OFF にし、以下の画面が表示されます。 

スイッチの操作音の ON/OFF を切り替える

操作手順

MENU → 設定 → 音量 →
操作音の ON/OFF を切り替える



※初期値：ON

音声案内の音量の ON/OFF を切り替える

音声案内の音量を OFF にする

操作手順

MENU → 設定 → 音量 →
ナビ音声の ON/OFF を切り替える



※初期値：ON

音声案内の音量を調整する

操作手順

MENU → 設定 → 音量 →
つまみをスライド / タッチし調整する



※初期値：音量 20

つまみ

ハンズフリーの音量を調整する

操作手順

ハンズフリー通話中に
- または + を押す



ワンポイント

- 通話音量と着信音量の調整は連動します。個別には調整できません。

03 オーディオの設定を変更する

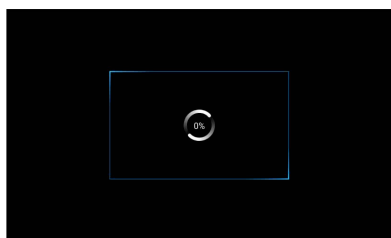
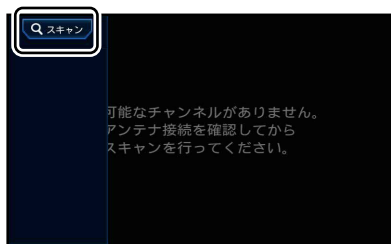
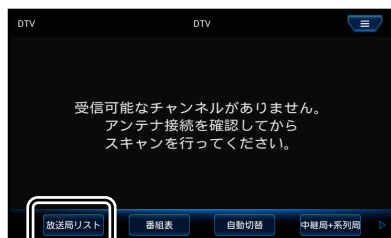
テレビのホームプリセットを設定する

初めてテレビを起動したとき

操作手順

MENU →  → 画面をタッチし、**放送局リスト** をタッチ →

Q スキャン をタッチし、スキャンを開始する → スキャンが完了すると受信した放送局が表示される



受信した放送局

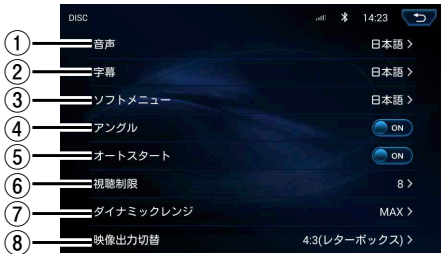
DVD 初期設定を変更する



操作の前に

- DVD を挿入しないと初期設定を変更することができません。
- ディスクによっては設定が反映されないことがあります。

操作手順



番号	機能
①	ディスクに複数の音声が入力されている場合、設定できます。
②	ディスクに複数の字幕が入力されている場合、設定できます。
③	ディスクに複数のメニューの表示言語が入力されている場合、設定できます。
④	アンクルが切り替え可能な場合で、ON に設定した場合、画面に [] のマークを表示します。
⑤	ON に設定した場合、走行中にディスクメニューを自動で実行し、本編を再生します。

番号	機能						
⑥	暗証番号 (0000) を入力することで、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくないディスクの視聴制限レベルを設定します。 <table border="1"> <tr> <td>レベル1</td><td>子供向けの DVD ソフトのみを再生 (一般向けと成人向けの DVD ソフトの再生を禁止)</td></tr> <tr> <td>レベル2～7</td><td>子供向けと一般向けの DVD ソフトのみを再生 (成人向けの DVD ソフトの再生を禁止)</td></tr> <tr> <td>レベル8 (初期設定値)</td><td>すべての DVD ソフトを再生</td></tr> </table>	レベル1	子供向けの DVD ソフトのみを再生 (一般向けと成人向けの DVD ソフトの再生を禁止)	レベル2～7	子供向けと一般向けの DVD ソフトのみを再生 (成人向けの DVD ソフトの再生を禁止)	レベル8 (初期設定値)	すべての DVD ソフトを再生
レベル1	子供向けの DVD ソフトのみを再生 (一般向けと成人向けの DVD ソフトの再生を禁止)						
レベル2～7	子供向けと一般向けの DVD ソフトのみを再生 (成人向けの DVD ソフトの再生を禁止)						
レベル8 (初期設定値)	すべての DVD ソフトを再生						
⑦	音声ダイナミックレンジを設定します。 <table border="1"> <tr> <td>MAX</td><td>音声の最大値と最小値の比が最大</td></tr> <tr> <td>STD</td><td>音声の最大値と最小値の比が中間</td></tr> <tr> <td>MIN</td><td>音声の最大値と最小値の比が最小</td></tr> </table>	MAX	音声の最大値と最小値の比が最大	STD	音声の最大値と最小値の比が中間	MIN	音声の最大値と最小値の比が最小
MAX	音声の最大値と最小値の比が最大						
STD	音声の最大値と最小値の比が中間						
MIN	音声の最大値と最小値の比が最小						
⑧	映像出力を設定します。 <table border="1"> <tr> <td>16:9 (ワイド)</td><td>通常のワイドサイズで表示</td></tr> <tr> <td>4:3 (レターボックス)</td><td>上下両端を黒く表示</td></tr> <tr> <td>4:3 (パンスカン)</td><td>左右両端がカットされた映像</td></tr> </table>	16:9 (ワイド)	通常のワイドサイズで表示	4:3 (レターボックス)	上下両端を黒く表示	4:3 (パンスカン)	左右両端がカットされた映像
16:9 (ワイド)	通常のワイドサイズで表示						
4:3 (レターボックス)	上下両端を黒く表示						
4:3 (パンスカン)	左右両端がカットされた映像						

※ ①②③④⑤⑥ DVD-VIDEO のみ

※ オートスタートを「ON」に設定してもディスクやディスクメニューの操作により本編を再生しないことがあります。



設定

オーディオの設定を変更する

音質を調整する

音質、音量バランスを調整することにより、最適な音響空間を作り出すことができます。

操作手順

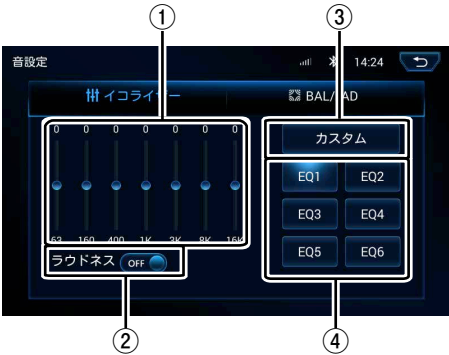
MENU → オーディオソースを選択 →  → 音設定 →

イコライザーを設定する / 音量バランスを調整する

モードを選択する

操作手順

「イコライザー」 → モードを選択する



番号	機能
①	各モードの音程を表示します。 ・「EQ1」～「EQ6」の各モードを表示しているときに、①を調整すると「③カスタム」の設定に切り替わります。
②	ラウドネスの ON / OFF を切り替えます。
③	カスタム設定時に使用します。
④	用途に応じてモードを選択します。 EQ1 : 初期設定値 EQ2 : ポップモード EQ3 : ロックモード EQ4 : クラシックモード EQ5 : ジャズモード EQ6 : ミュージカルモード

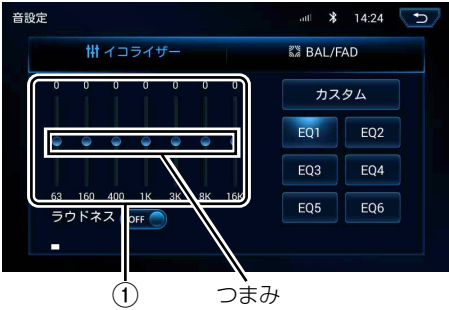
カスタム設定する

操作手順

「イコライザー」 → ベースとなるモードを選択 → つまみをスライド / タッチし、調整する（モードがカスタムに切り替わります） →

カスタム に調整後の設定が記憶される

- ☒ 操作の前に
- 「カスタム」に記憶できる設定数は 1 パターンです。再度設定すると前回の設定は上書きされます。



番号	機能
①	各周波数域において、±7dB の範囲で調整します。調整は以下のいずれかの方法でおこないます。 ・ 中心のつまみをスライドする ・ 画面内をタッチする

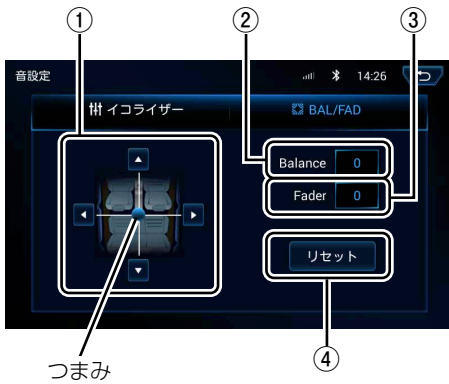
- ワンポイント
- 外部入力機器（VTR 機器、ポータブルオーディオ機器など）を接続する場合、外部入力機器の EQ 設定レベルを高くしていると音が割れることがあります。この場合は、EQ 設定レベルを低くしてください。

BAL / FAD（音量バランス）を設定する

左右（Balance）・前後（Fader）スピーカーの音量バランスを調整します。

操作手順

「BAL/FAD」 → つまみをスライド /
タッチし、調整する



番号	機能
①	Balance/Fader を調整します。 調整は以下のいずれかの方法でおこないます。 ・ 中心のつまみをスライドする ・ △▽◀▶スイッチをタッチする ・ 画面内をタッチする
②	Balance 値を表示します。
③	Fader 値を表示します。
④	Balance/Fader 値を「0」に戻します。

04 Bluetooth 機器を設定する

Bluetooth 機能について

✓ 操作の前に

- 使用できる Bluetooth 機器の仕様については、「Bluetooth の仕様」(→ P.68) をご覧ください。

Bluetooth の無線通信機能を使って、次の機能を利用できます。

<ハンズフリー>

Bluetooth 対応のスマートフォンや携帯電話を直接操作せずに、電話機能を使用できます。(→ P.50)

※本書では、ハンズフリーに使用する Bluetooth 機器を「携帯電話」の名称で記載します。

<Bluetooth Audio>

Bluetooth 機器に収録されている音楽を再生できます。(→ P.47)

- 各機能をご利用いただくには、Bluetooth 機器(スマートフォン・携帯電話・ポータブル機など)を本機に登録し、接続する必要があります。

🔍 ワンポイント

- 何台か接続履歴がある状態で本機を起動した場合、接続履歴の新しい順に自動接続します。
- 端末により表示内容が異なることがあります。あらかじめご了承ください。
- 動作確認済の携帯電話の機種については、ECLIPSE ホームページをご覧ください。「お客様サポート」→「Bluetooth 携帯電話適合情報」(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/>)

Bluetooth 機器をペアリングする

本機には、最大 9 台まで接続履歴が残ります。

操作手順



Bluetooth 機器を操作し、本機と接続可能な状態にする

ペア設定する にタッチする

- Bluetooth 機器側からでもペア設定することができます。



「キャンセル」をタッチすると接続をキャンセルします。

ペアリングが完了すると「接続機器」に Bluetooth 機器名が表示される



🔗 をタッチすると本機とのペアリングが解除され、Bluetooth 機器名が「接続履歴」に表示される

Bluetooth 機器の接続を管理する

接続する Bluetooth 機器を変更する

操作手順

MENU → 設定 → Bluetooth →

「接続履歴」から接続したい機器名を選択

- 接続したい機器名がないときは、Bluetooth 機器のペアリングをしてください。(→ P.26)



アイコンをタッチする

… 電話（ハンズフリー）と音楽（Bluetooth オーディオ）を接続します

… 接続履歴から削除します



ワンポイント

- Bluetooth の接続履歴には、最大 9 台分の接続履歴が表示されます。

接続履歴から Bluetooth 機器の登録を削除する

操作手順

MENU → 設定 → Bluetooth →
「接続履歴」から削除したい機器名を選択
→ → はい

Bluetooth 機器の接続を切る

操作手順

MENU → 設定 → Bluetooth →
 をタッチ



設定

05 外部機器を設定する

バックカメラを設定する（別売）

⚠ 警告

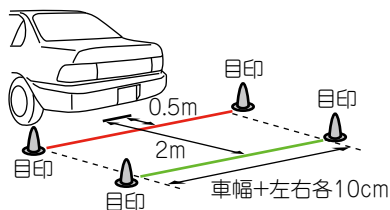
- 車を降りて目印をつけるときは、必ずエンジンを切ってください。
- ガイド線を調整する際は、安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態で作業をおこなってください。

✓ 操作の前に

- 距離はあくまで推奨です。
ガイド線を表示する場合は、必ず車に合わせた調整をおこなってください。

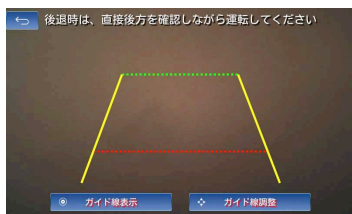
調整手順

1. 下記寸法に従い、目印を置きます。



2. シフトギアを「R」に入れ、画面をタッチし、[ガイド線調整] スイッチを表示させます。

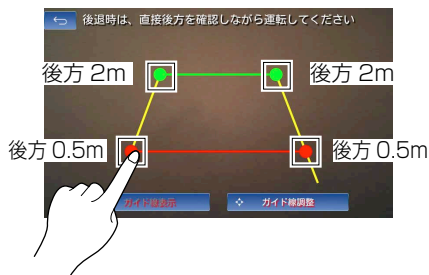
ガイド線が表示されていない場合は、**ガイド線表示** をタッチしてください。



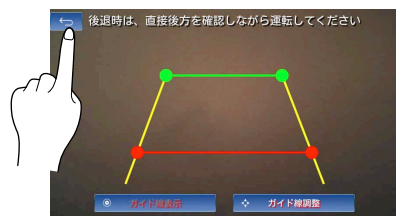
調整手順（つづき）

3. **ガイド線調整** をタッチしてから、下図の四角で囲っている位置（4箇所）をマーキングと重なるように調整します。

- 後方表示の数値は、本機の画面上には表示されません。



4. 調整が終わったら **←** にタッチし、調整作業を完了します。



ワンポイント

- **ガイド線調整** を長押しすると、一度調整したガイド線がリセットされます。



ステアリングスイッチを設定する

ステアリングスイッチ装着車の場合には、オーディオの主要機能やハンズフリーの音量調整をステアリングスイッチで操作できます。

また、ステアリングスイッチにお好みの機能を割り当てることができます。

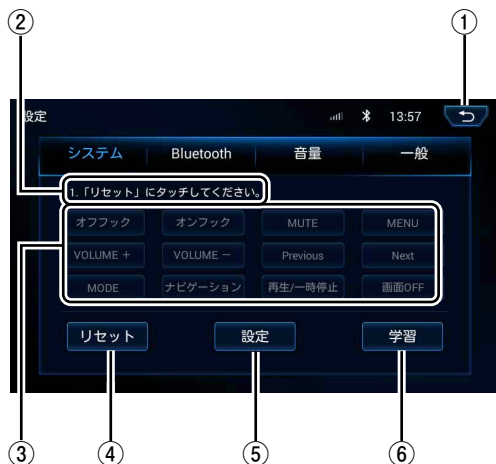
✓ 操作の前に

- 対応車種については、ECLIPSE ホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「車種別適合ジャストフィットガイド」(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/>)

操作手順

MENU → 設定 → システム → ステアリングスイッチ → ステアリングスイッチ
設定画面が表示される

◆ステアリングスイッチ設定画面



番号	内容
①	前画面に戻ります。
②	状態／設定画面の案内文を表示します。

外部機器を設定する

番号	内 容
③	ステアリングスイッチに設定可能な機能を表示しています。
オフック	・画面に  が表示されているときに押すと、電話をかけます。 ・着信時に押すと、電話を受けます。
オンック	・通話中に押すと、電話を切ります。 ・着信時に押すと、着信を拒否します。
MUTE	押すごとにオーディオの音声を消音／消音解除します。
MENU	メインメニューを表示します。
VOLUME + VOLUME -	・押すごとに 1 ステップずつ音量を変更します。 ・長押しすると、押し続けている間、音量が連続して変化します。
Previous Next	・押すごとに 1 ステップずつ曲／ファイルを変更します。 ・長押しすると、押し続けている間、曲／ファイルが連続して変化します。 ・ラジオの場合、押すごとにプリセット局を変更します。
MODE	押すごとにモードを切り替えます。 ラジオ→Bluetooth Audio→外部機器→DTV→DISC→地図→ラジオに戻る ※再生、または視聴できない場合、そのモードはスキップされます。
ナビゲーション	ナビの現在地画面を表示します。
再生／一時停止	音楽や動画を再生／一時停止します。
画面 OFF	画面を OFF にします。
④	ステアリングスイッチ設定の初期化／再設定をおこないます。
⑤	ステアリングスイッチの設定がうまくいかない場合に使用します。 詳しくは、(→ P.32)を参照してください。
⑥	ステアリングスイッチの設定を完了します。

機能を割り当てる

ステアリングスイッチにお好みの機能を割り当て、本機に記憶させます。
ステアリングスイッチ設定画面の案内文に従い、機能スイッチを割り当ててください。

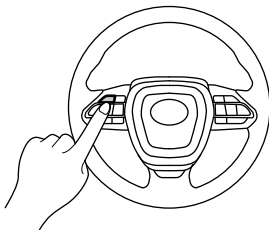
設定手順

ステアリングスイッチ設定画面を表示します。

1. **リセット** にタッチします。



2. 割り当てたいボタンを長押しします。



3. 割り当てたい機能をタッチします。



設定手順 (つづき)

4. 設定手順 2. と 3. を繰り返し、ステアリングスイッチに機能を割り当てます。

機能の割り当てが終わったら **学習** にタッチしてください。



5. **戻る** をタッチし、前の画面に戻ります。



設定し直す場合は **リセット** にタッチし、設定手順 2. からやり直してください。

- ステアリングスイッチは最大 12 個の機能を設定できます。上記の設定方法に従い、それぞれ設定してください。

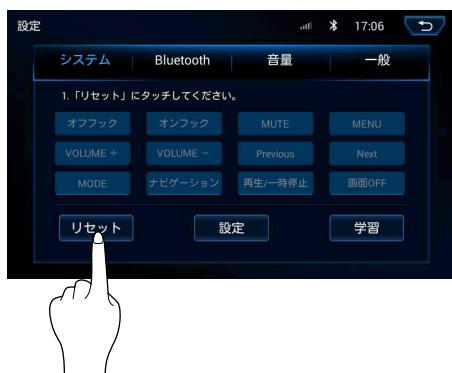


設定

外部機器を設定する

機能割り当てを初期化する

操作手順



ワンポイント

- 初期化されるのは、ステアリングスイッチの機能割り当てのみです。

機能割り当てがうまくいかない場合

ステアリングスイッチの機能割り当てがうまくいかない場合は下記の設定をお試しください。

設定手順

ステアリングスイッチ設定画面を表示します。

1. **設定** にタッチします。



2. **Setting1** または **Setting2** をタッチした後に、**はい** をタッチし、システムを再起動します（約 40 秒）。



初期設定に戻る

3. システムの再起動後に、再度ステアリングスイッチの機能割り当てをおこなってください（→ P.31）。



06 言語を設定する

操作手順

MENU



設定

一般

言語設定

→ 変更したい言語を選択 → 再起動(約 40 秒)



● 次の言語に設定を確認・変更できます。

番 号	言 語
①	日本語
②	English
③	中文简体
④	中文繁體
⑤	한국어



操作の前に

- 各言語のスイッチをタッチすると、再起動が始まり、再起動後に設定が反映されます。再起動には約 40 秒かかります。



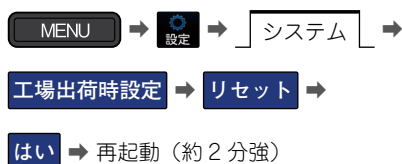
ワンポイント

- 設定されている言語は文字の色が青色です。
- 背景画 2 以外を選択している状態で、日本語以外の言語を設定した場合は、システムの再起動の際、自動的に背景画 2 に変更されます。



設定

操作手順



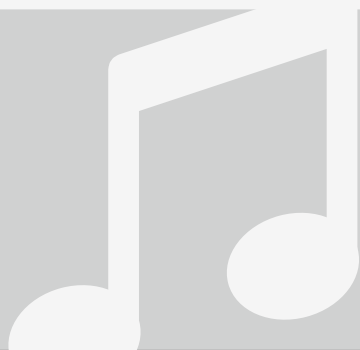
操作の前に

- 初期化された内容は元に戻すことができません。
- **はい** をタッチすると、再起動が始まります。再起動には約 2 分強かかります。
- Bluetooth 機器を登録している場合は接続履歴が削除されますので再度ペアリングをおこなってください。(→ P.26)

項 目	初期化される内容
音量設定	・ 操作音 ON/OFF ・ ナビ音量 ・ ナビ音声
一般設定	・ 背景画設定 ・ 言語設定 ・ 画質調整で設定した項目
音設定	・ イコライザーの設定 ・ ラウドネス ON/OFF ・ BAL/FAD の設定
ステアリングスイッチ	割り当てた設定
ラジオ	・ 受信モード ・ プリセット情報
Bluetooth	接続履歴
その他	・ AV 音量 ・ ラストモード復帰
CD	リピート / ランダム再生の設定
DVD	設定内で変更した内容
電話 (ハンズフリー)	・ 電話帳自動転送 ON/OFF ・ Bluetooth ON/OFF ・ 本機のデバイス名
テレビ	・ 設定した放送局リスト ・ テレビの受信モード ・ 主音声 / 副音声の設定 ・ 字幕 ON/OFF
GPS	距離学習

項 目	初期化される内容
地図画面	・ 地図の向き ・ 縮尺設定 ・ 設定した地図表示設定 ・ 設定した地図色設定 ・ 設定した自転車位置マーク
メモリ地点	・ 登録したメモリ地点 ・ 登録した自宅
目的地履歴	目的地を設定したときに自動で記憶された地点
前回出発地	前回案内時の出発地点
目的地案内	・ 設定中の目的地 ・ 目的地の案内中断 / 再開
走行軌跡	保存した走行軌跡
ルート学習	ルート学習の結果
フリーワード 検索履歴	フリーワードで検索した単語
周辺施設表示	設定したジャンル
ナビ詳細設定	ナビ詳細設定で変更した内容

オーディオ



01 ラジオを聞く

ラジオを聞く

操作手順

MENU



→ 各操作をおこなう



番号	機能
①	受信した放送局を表示します。 ※ 放送局をプリセットスイッチに記憶する場合は、2 秒以上タッチしてください。 ※ 左右にスライドさせて記憶している放送局を選局できます。 ※ 最大 12ch 記憶させることができます。
②	受信している放送局を表示します。
③	受信した放送局 AM/FM のモードを切り替えます。
④	タッチすると、機能画面を表示します。  ・ 音設定：音質を設定することができます。 (→ P.24) (→ P.25) ・ AV OFF：オーディオを OFF (消音) します。

番号	機能
⑤	・ タッチすると自動サーチが始まり、サーチが完了すると自動的に中止します。 ・ サーチされた放送局は自動的にプリセットされます。 ・ サーチ中にもう一度タッチするとサーチを中止します。
⑥	・ 押すと周波数を 1 ステップずつアップ / ダウンします。 ・ 長押しすると、現在の放送局から受信できる放送局をサーチし、受信もしくは放送局を一周すると止まります。サーチ中にもう一度押すとサーチを中止します。 ※ AM:522kHz ~ 1629kHz、9kHz ずつ切り替えて放送局を受信します。 ※ FM:76.0MHz ~ 95.0MHz、0.1MHz ずつ切り替えて放送局を受信します。
⑦	音量を調整します。

音楽ディスクを聞く

ディスクを挿入すると自動再生されます。

操作するには以下の手順でディスク操作画面を表示させ、操作してください。

操作手順

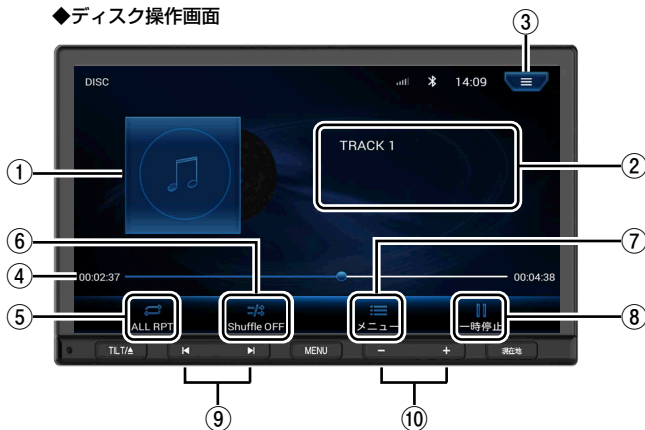
MENU



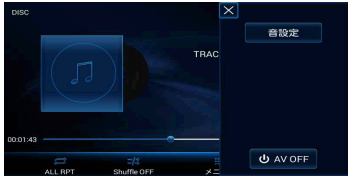
→ 各操作をおこなう

●ディスクを挿入していない場合、アイコン表記が暗くなり、タッチしても動作しません。

◆ディスク操作画面

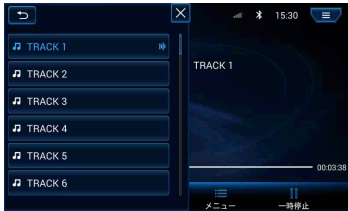


オーディオ

番号	機能
①	(カバーアートを表示する機能はありません)
②	曲 / ファイル名、アーティスト名、アルバム名を表示します。*
③	タッチすると、機能画面を表示します。  ・ 音設定 : 音質を設定することができます。(→ P.24) (→ P.25) ・ AV OFF : オーディオを OFF (消音) します。

※「Unicode」文字フォーマットのみ正常に表示します。その他のフォーマットを使用した場合、文字化けおよび表示しないことがあります。あらかじめご了承ください。

音楽ディスクを聞く

番号	機 能
④	シークバー - 再生中のディスクの時間情報を表示します。 - スライダー (●) を左右にスライドさせ再生位置を調整します。
⑤	タッチ ※1 すると、 → () ※2 →  →  の順に切り替わります。  : 全曲の再生が終わると 1 曲目から再生します。  : 再生中のフォルダを繰り返し再生します。  : 再生中の曲を繰り返し再生します。  : リピート再生を解除します。 ※1 リピートスイッチをタッチすると、シャッフル再生を解除します。 ※2 フォルダ付きディスクデータのみ表示します。
⑥	タッチすると、 →  の順に切り替わります。 音楽ディスクの場合  : シャッフル再生を解除します。  : ディスク内全ての曲をシャッフル再生します。
⑦	 をタッチすると、 - 曲リストを表示 (音楽ディスクのみ) - フォルダリスト表示 (MP3/AAC のみ) 
⑧	タッチすると、 →  の順に切り替わります。  : 曲を一時停止します。  : 曲を再生します。
⑨	- 押すと、前 / 後のファイル (曲) ヘスキップ、もしくは頭出しをします。 - 長押しすると、ファイル (曲) を早戻し / 早送りします。
⑩	音量を調整します。

03 DVD を見る

ディスクを挿入すると自動再生されます。

VR モードで録画されたディスクはファイナライズをしていないと再生されません。

操作するには以下の手順でディスク操作画面を表示し、操作してください。

操作手順

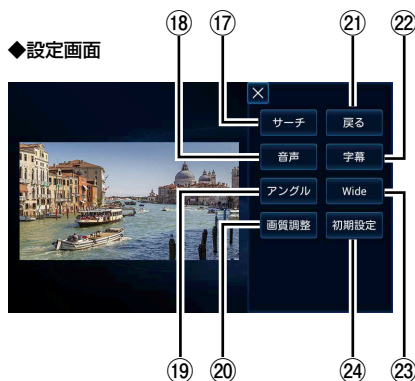
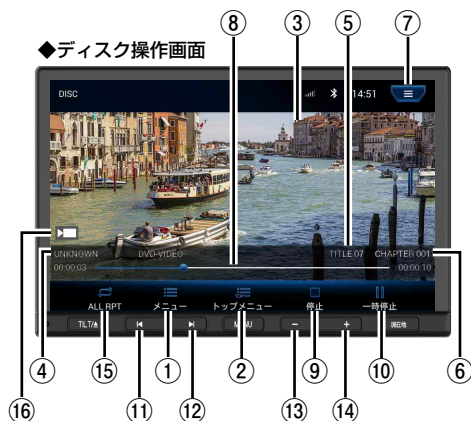
MENU



→ 各操作をおこなう

●ディスクを挿入していない場合、アイコン表記が暗くなり、タッチしても動作しません。

操作画面 (VIDEO モード)



番号	機能
①	タッチすると、メニュー画面を表示します。
②	タッチすると、トップメニューを表示します。 ↑ ↓ ← → で項目を選択し、 決定 をタッチして決定します。
③	全画面の映像を表示します。
④	ディスクタイトルを表示します。 ※ディスクタイトルがない場合、「UNKNOWN」を表示します。
⑤	タイトル番号を表示します。
⑥	チャプター番号を表示します。

番号	機能
⑦	タッチすると、機能画面を表示します。 ・ 音設定 ：音質を設定することができます。 (→ P.24) (→ P.25) ・ 設定 ：各種設定をおこないます (17~24参照)。 ・ ナビ +AV ：AV とナビを二画面で表示することができます。(→ P.19) ・ AV OFF ：オーディオを OFF (消音) します。
⑧	シークバー ・ 再生中のディスクの時間情報を表示します。 ・ スライダー (●) を左右にスライドさせ再生位置を調整します。
⑨	タッチすると、ディスクの再生を停止します。
⑩	・ 一時停止 をタッチすると一時停止します。 ・ 再生 をタッチすると再生します。

オーディオ

DVD を見る

番号	機 能	番号	機 能
⑪	 ・一回押すと、前のチャプターに戻ります。 ・長押しすると、映像を早戻しします。 ・一時停止中に1回押すと、前のチャプターに切り替えます。 ・一時停止中に長押しすると、映像を早戻しします。	⑫	 ・一回押すと、次のチャプターに切り替えます。 ・長押しすると、映像を早送りします。 ・一時停止中に1回押すと、次のチャプターに切り替えます。 ・一時停止中に長押しすると、映像を早送りします。
⑬	 音量を下げます。	⑭	 音量を上げます。
⑮	 ・ をタッチすると、再生中のDVDをリピート再生します。 ・もう一度タッチすると、リピート再生を解除します。	⑯	 をタッチすると、画面サイズを切り替えます。 ・「Normal」：両端を黒く表示します。 ・「Wide 1」：左右方向へ均等に拡大して表示します。 ・「Wide 2」：上下方向へ均等に拡大して表示します。 ※ ディスクにより切り替えできないことがあります。あらかじめご了承ください。
⑰	カメラアングルをサポートしているときに  を表示します。	⑳	 をタッチすると、画質調整画面を表示し、次の項目を設定できます。 ・色合い ・色の濃さ ・コントラスト ・明るさ
⑱	 をタッチすると、入力画面を表示し、タイトル番号を指定してディスクを再生します。	㉑	 をタッチすると、ディスクのあらかじめ決められた位置から再生します。
㉑	 をタッチすると、 ・ディスクに複数の音声が入力されている場合、音声を切り替えて再生します。 ・タッチすることにより音声を切り替えます。	㉒	 をタッチすると、 ・ディスクに複数の字幕が収録されている場合、字幕を切り替えて表示します。 ・ をタッチすることにより字幕言語を切り替えます。 ・ をタッチすると、字幕なしです。
㉒	 をタッチすると、 ・ディスクに複数のアングルが収録されている場合、アングルを切り替えて表示します。 ・アングルが切り替え可能な場合は  を表示します。 ・タッチすることによりアングルを切り替えます。	㉓	 をタッチすると、初期設定画面を表示します。 詳細は(→ P.23) 参照。

操作画面 (VR モード)



◆設定画面



番号	機能
①	タッチすると、次のプログラムに切り替えます。
②	タッチすると、プログラムの頭出しをおこないます。 連続してタッチすると、前のプログラムに切り替え、「設定画面」を表示します。
③	全画面の映像を表示します。
④	ディスクタイトルを表示します。 ※ディスクタイトルがない場合、「UNKNOWN」を表示します。
⑤	タイトル番号を表示します。
⑥	チャプター番号します。
⑦	タッチすると、機能画面を表示します。 ≡ → 設定 で「設定画面」を表示します。
⑧	シークバー ・再生中のディスクの時間情報を表示します。 ・スライダー (●) を左右にスライドさせ再生位置を調整します。
⑨	タッチすると、ディスクの再生を停止します。
⑩	・一時停止 (⏸) をタッチすると一時停止します。 ・再生 (▶) をタッチすると再生します。

番号	機能
⑪	◀ ・一回押すと、前のチャプターに戻ります。 ・長押しすると、映像を早戻しします。 ・一時停止中に1回押すと、前のチャプターに切り替えます。 ・一時停止中に長押しすると、映像を早戻しします。
⑫	▶ ・一回押すと、次のチャプターに切り替えます。 ・長押しすると、映像を早送りします。 ・一時停止中に1回押すと、次のチャプターに切り替えます。 ・一時停止中に長押しすると、映像を早送りします。
⑬	⏮ 音量を下げます。
⑭	⏭ 音量を上げます。
⑮	各種設定を行います。 詳細は、(→ P.40 ⑰～⑳) 参照

04 テレビを見る

緊急警報放送（EWS）を受信した場合は

EWS（Emergency Warning System）とは、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があった場合に放送されます。緊急警報放送を受信した場合、メッセージが表示されます。**OK** または **視聴する** にタッチすると緊急警報放送をご覧いただけます。

こんなメッセージが表示されたときは

次のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

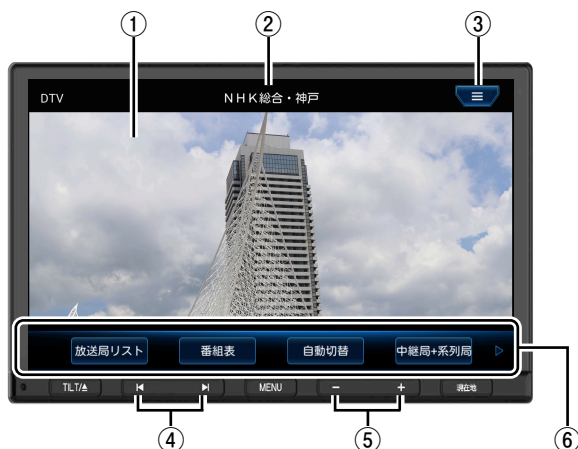
メッセージ	原因	処置
受信レベルが低下しています。	地上デジタル放送 / ワンセグ放送の受信レベルが低い	デジタルテレビ電波の強い場所に移動してください。
受信可能なチャンネルがありません。 アンテナ接続を確認してから スキャンを行ってください。	地上デジタル放送 / ワンセグ放送の電波を受信できていない	アンテナが接続されていることを確認し、地上デジタル放送が受信可能なエリアでチャンネルサーチしてください。
B-CAS カードが挿入されていません。	受信モードが「地デジ」で、 B-CAS カードが挿入されていない場合	B-CAS カードを挿入してください。
準備中です ...	地上デジタル放送 / ワンセグ放送の受信準備中	そのまましばらくお待ちください。

テレビを見る

操作手順

MENU →  → 受信している放送局の映像を表示

● DTV 信号の受信レベルが低い場合、「受信レベルが低下しています。」と表示されます。

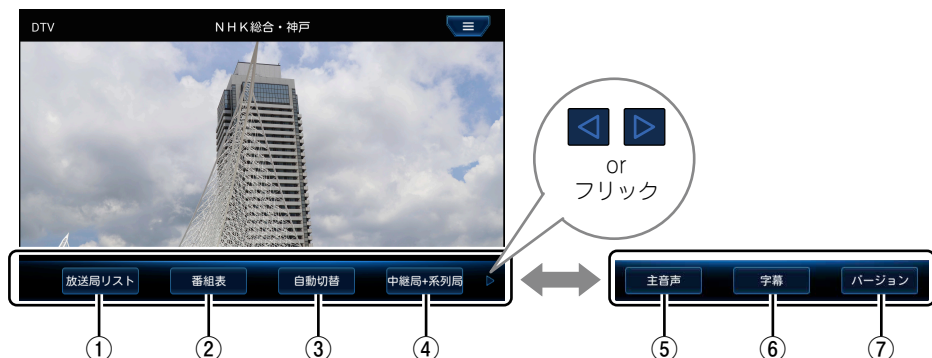


オーディオ

番号	機 能
①	映像を表示します。
②	受信した放送局を表示します。
③	タッチすると、機能画面を表示します。  ・ 音設定：音質を設定することができます。(→ P.24) (→ P.25) ・ ナビ+AV：AV とナビを二画面で表示することができます。(→ P.19) ・ AV OFF：オーディオを OFF (消音) します。
④	放送局を切り替えます。
⑤	音量を調整します。
⑥	機能スイッチを操作します。(→ P.44)

テレビを見る

各機能スイッチを操作する



番号	機 能
①	タッチすると、放送局リストを表示します。 タッチするとスクリーン画面を表示し、スクリーンを開始します 受信した放送局 ・ 放送局リストからチャンネルを変更することができます。 ・ 初めてテレビを起動したとき、放送局リストはありません。テレビのホームプリセットの設定をおこなってください。(→ P.22)
②	タッチすると、番組表を表示します。 タッチすると下に下がります タッチすると上に上がります タッチすると番組情報を表示します タッチするとDTV画面に戻ります ※番組表に表示される内容と実際の放送が異なる場合があります。

番号	機 能
③	自動切替 をタッチし、地デジの受信モードを設定します。 ・ 自動切替 : 地上デジタル TV が受信できない状態になると、自動でワンセグ放送に切り替えます。 (受信可能になると、再び地上デジタル TV 放送に切り替わります。) ・ 地デジ : 常に地上デジタル TV 放送を受信します。 ・ ワンセグ : 常にワンセグ放送を受信します。
④	中継局 + 系列局 タッチするごとに、「中継局 + 系列局」→「中継局のみ」→「OFF」の順に切り替えます。
⑤	主音声 タッチするごとに、「主音声」→「副音声」の順に切り替えます。 ※副音声を提供されていない場合は、切り替わりません。
⑥	字幕 放送中の番組が字幕を提供している場合、タッチするごとに、字幕表示の ON / OFF を切り替えます。 ※字幕を提供されていない場合は、切り替わりません。
⑦	バージョン バージョン情報を表示します。



05 AUX を聞く

ポータブルオーディオ機器を AUX 入力 (RCA) 端子に接続して音楽を再生することができます。



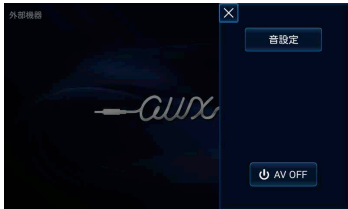
操作の前に

- 外部入力機器を接続するには付属の「AUX コード」をご利用ください。
- 外部機器を接続 / 取りはずすときは、次のことを確認してください。
 - ・ 外部機器の電源が切れていること
 - ・ オーディオソースが外部入力以外になっていること

操作手順

「AUX IN_L」、「AUX IN_R」を外部機器に接続 →  → 



番号	機 能
①	AUX 画面を表示します。
②	タッチすると、機能画面を表示します。  ・ 音設定 : 音質を設定することができます。(→ P.24) (→ P.25) ・ AV OFF : オーディオを OFF (消音) します。
③	音量を調整します。

※ 上記以外の操作は、外部機器側でおこなってください。

06 Bluetooth オーディオを聞く

Bluetooth 機器を接続する

Bluetooth オーディオを聞くには、本機に Bluetooth 機器を接続する必要があります。本機に Bluetooth 機器を接続するには、事前に Bluetooth 機器のペアリング（→ P.26）をおこなってください。

本機側から接続する

操作手順



Bluetooth 機器を接続可能な状態にする → Bluetooth 機器側で接続したいデバイス名を選択し、 をタッチする



「接続機器」に接続されている Bluetooth 機器名が表示される



Bluetooth 機器側から接続する

操作手順

Bluetooth 機器を接続可能な状態にする → Bluetooth 機器の指示にしたがって本機と接続する



オーディオ

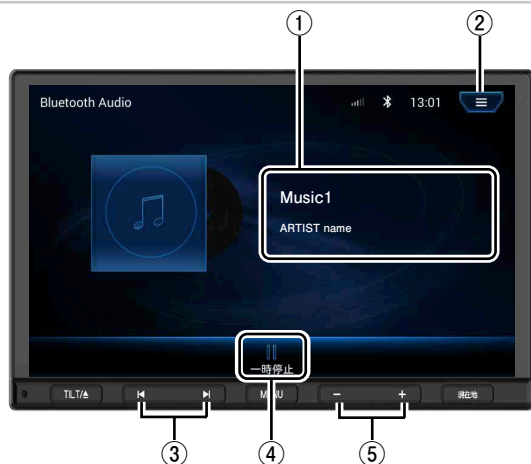
操作画面

操作手順

MENU →  → 以下の画面を表示

- デバイスと接続されていない場合、「Bluetooth が接続されていません、Bluetooth を接続しますか？」と表示されます。

はい をタッチし、接続をおこなってください。(→ P.47)



番号	機能
①	アーティスト名 / 曲名 ^{※1} を表示します。
②	タッチすると、設定画面を表示します。 ・ 音設定 : 音質を設定することができます。(→ P.24) (→ P.25) ・ AV OFF : オーディオを OFF (消音) します。
③	押すと、前 / 後の曲へスキップ、もしくは頭出しをします。

番号	機能
④	再生 / 一時停止をします。
⑤	音量 ^{※2} を調整します。

※1 表示しないこともあります。あらかじめ、ご了承ください。

※2 音量は Bluetooth 機器からでも変更することができますが、一部変更できない Bluetooth 機器もあります。

電話を使う
(ハンズフリー)



ハンズフリーについて



操作の前に

- 同梱の「ハンズフリーマイク」が接続されていないとハンズフリー通話を行うことができません。



ワンポイント

- 携帯電話の設定によっては、Bluetooth 接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してください。
- 携帯電話の三者通話を契約している場合は、携帯電話本体で三者通話を解除してからお使いください。

操作手順

MENU



- Bluetooth 機器が接続されていない場合、「Bluetooth が接続されていません、Bluetooth を接続しますか？」と表示されます。

はい をタッチし、接続をおこなってください。(→ P.27) (→ P.47)



操作中の機器のデバイス名が表示されます。

設定画面について



番号	内容
①	タッチすると、設定を表示します。
②	タッチすると、通話履歴を表示します。  通話履歴が同期されていない場合は「履歴がありません」と表示されます。表示させるには通話履歴の同期をおこなってください。
③	タッチすると、電話帳を表示します。  - 電話帳が同期されていない場合は「電話帳の同期を行いますか?」と表示されます。表示させる場合は、はいを選択し、電話帳の同期をおこなってください。 - 文字入力で連絡先を検索できます。

番号	内容
④	タッチすると、キーパッドを表示します。  - 番号を入力し、 をタッチすると電話を掛けます。 ※  をタッチすると、一文字削除します。長押しすると、全削除します。
⑤	タッチすると、機能画面を表示します。 AV OFF :オーディオを OFF(消音)します。
⑥	Bluetooth接続のON / OFFを切り替えます。
⑦	接続機器の名称を表示します。 ※ 名称部分をタッチすると、接続機器名称を変更することができます。
⑧	ペアリングされたデバイス名を表示します。
⑨	電話帳自動転送のON / OFFを切り替えます。
⑩	タッチすると、Bluetooth 設定画面を表示します。(→ P.27)

電話帳データについて

- 電話帳に登録される情報の種類や文字数、メモリ件数は、接続する携帯電話によって異なります。
- 本機と Bluetooth 接続されている携帯電話の電話帳のみ表示することができます。
- 本機で表示される電話帳の並びは下記のルールに従っています。よって、携帯電話の電話帳の並びと異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

並び順	種 類	
①	五十音	Japanese sounds
②	アルファベット	English Alphabets
③	数字	Numbers
④	他（記号等）	Other (Symbols etc)

- 本機の電話帳を編集することはできません。
- 電話帳のライブラリは「kuromoji」を使用しています。

携帯電話の電話帳データ転送について

携帯電話に登録されている電話帳データを、本機に転送することで、本機側から電話帳を使い、電話を掛けることができます。



操作の前に

- 転送する場合はバッテリー上がり防止のため、エンジンスイッチを ON にした状態でおこなってください。



ワンポイント

- 電話帳データを転送するときは、次のような制限があります。
 - ・名称・名称読みは機種によって、転送されないことや、正しく表示されないことがあります。
 - ・シークレットメモリは転送されませんが、機種によっては転送される場合があります。
 - ・携帯電話に登録しているグループ名は転送されません。
 - ・本機に表示される電話帳アイコンは携帯電話の情報を基に自動で付与されます。携帯電話の機種や使用環境によっては、すべて同じアイコンが表示されます。
 - ・携帯電話の設定で、連絡先のアクセスを許可していない場合は、電話帳データおよび通話履歴データは転送されません。
- 一括転送可能な機種は、次のような特徴があります。
 - ・転送には 10 分程度かかる場合があります。

02 電話をかける・切る・受ける

電話をかける

✓ 操作の前に

- Bluetooth 機器と接続していない場合、「Bluetooth が接続されていません Bluetooth を接続しますか?」と表示されます。「はい」をタッチし、接続をおこなってください。(→ P.27) (→ P.47)

通話履歴から電話をかける

操作手順



通話したい相手を選択



電話帳から電話をかける

操作手順



通話したい相手を選択



キーパッドから電話をかける

操作手順



電話番号を入力



電話を切る

次ページの「操作画面（着信中）」および「操作画面（通話中）」を参照してください。

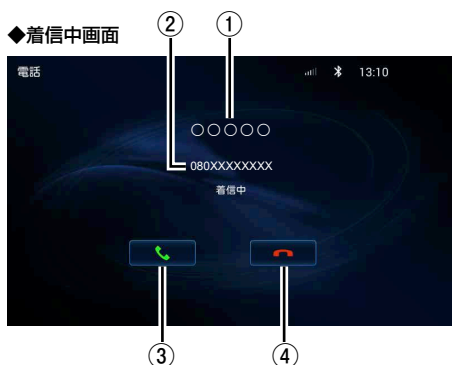
電話を受ける

次ページの「操作画面（着信中）」を参照してください。



電話を使う（ハンズフリー）

操作画面（着信中）



番号	機能
①	電話帳に登録されている名称を表示します。 ※ アドレス帳に登録されていない場合は何も表示されません。 ※ 言語または文字コードにより表示されないことがあります。あらかじめご了承ください。
②	着信相手の電話番号を表示します。
③	をタッチすると、電話を受けます。
④	をタッチすると、電話を受けません。

操作画面（通話中）



番号	機能
①	をタッチすると、通話を終了します。
②	タッチすると、 → の順に切り替わります。 ・ ……車載マイクを使用して通話します。 ・ ……送話音を消音します。
③	タッチすると、キーボードを表示します。
④	タッチすると、 → の順に切り替わります。 ・ ……ハンズフリーにて通話中です。 ・ ……携帯電話にて通話中です。 ※ 音量は本機の音量調整スイッチで調整できます。(→ P.21)



ワンポイント

- 通話中に を押すと、ナビの現在地画面を表示します。
- 通話中にシフトギアを「R」に入れるとバックカメラ映像のみ表示します。バックカメラの動作は(→ P.56)を参照してください。

外部機器をつなげる



01 バックカメラを使う

バックカメラについて

バックカメラは本製品には付属しません。
別途お買い求めください。

⚠ 警告

- バックカメラの設定をする際は、安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態で作業をおこなってください。

⚠ 注意

- バックカメラは、障害物等を確認するための補助手段として使用してください。
- ディスプレイだけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- バックカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた映像です。また、車により見え方が異なります。十分にご注意ください。
- バックカメラの映像表示中は全てのスイッチ操作ができません。
- バックカメラ未接続状態でシフトギアを「R」に入れると、直前に表示されていたメニューが継続されます。
- 本機の起動直後は、ガイド線は表示されません。

⚠ 重要

- 高圧洗車機を使用する場合、バックカメラ、またはバックカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。バックカメラが脱落するおそれがあります。



ワンポイント

- バックカメラの接続先および適合情報については、イクリプスの Web サイト内「お客様サポート」(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/>) をご確認ください。

バックカメラを使う

別売のバックカメラを装着した場合、シフトギアを「R」に入れると、ディスプレイに後方のカメラ映像を映します。



- シフトギアを「R」以外へ入れるとバックカメラの映像を解除します。

ガイド線の ON / OFF を切り替える

⚠ 警告

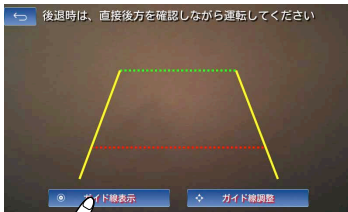
- ガイド線の ON/OFF を切り替える際は、安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態で作業をおこなってください。

操作手順

1. シフトギアを「R」に入れ、画面をタッチし、「ガイド線表示」スイッチを表示させる



2. **ガイド線表示** をタッチする



3. バックカメラの映像からガイド線が消える



ワンポイント

- 初期設定では、ガイド線は表示されています。
- ガイド線が表示されていない状態で再度ガイド線を表示するには、画面をタッチし、「ガイド線表示」スイッチを表示させ、**ガイド線表示** をタッチしてください。
- ガイド線の設定方法は、(→ P.28) を参照してください。



外部機器をつなげる

02 ステアリングスイッチを使う

オーディオ・ハンズフリー機能共通の操作

スイッチ名称	スイッチ	機 能
音量スイッチ	(+)・(-)	・ 押すごとに1ステップずつ音量を変更 ・ 長押しすると、押し続けている間、音量が連続して変化

オーディオ機能の操作

共通操作

スイッチ名称	スイッチ	機 能
モード切替スイッチ	(MODE)	押すごとにモードを切り替えます。 ラジオ→(Bluetooth Audio)*→外部機器→ DTV→(DISC)*→地図→ラジオに戻ります。 ※ 再生、または視聴できない場合、そのモードはスキップされます。
ミュートスイッチ	(MUTE)	押すごとにオーディオの音声を消音 / 消音解除します。

各オーディオ機能の操作

操作項目	スイッチ名称	スイッチ	機 能
ラジオ	選局スイッチ	(△)・(▽)	・ 押すごとに、プリセットスイッチに記憶させた放送局を切り替えます。 ・ 長押しすると、受信中の周波数に一番近い放送局を自動で選局します。
CD	選曲スイッチ	(△)	・ 押すと、次の曲へスキップします。 ・ 長押しすると、早送りします。
		(▽)	・ 押すと、前の曲へスキップ、もしくは頭出しをします。 ・ 長押しすると、早戻しします。
Bluetooth Audio	選曲スイッチ	(△)	・ 押すと、次の曲 / ファイルへスキップします。 ・ 長押しすると、早送りします。
		(▽)	・ 押すと、前の曲 / ファイルへスキップします。 ・ 長押しすると、早戻しします。
テレビ	選局スイッチ	(△)・(▽)	・ 押すごとに、プリセットスイッチに記憶させた放送局を切り替えます。
DVD	選曲スイッチ	(△)	・ 押すと、次のチャプターへスキップします。 ・ 長押しすると、早送りします。
		(▽)	・ 押すと、前のチャプターへスキップします。 ・ 長押しすると、早戻しします。

ハンズフリー機能の操作

スイッチ名称	スイッチ	機 能
オフフック	()	・画面に  が表示されているときに押すと、電話をかけます。 ・着信時に押すと、電話を受けます。
オンフック	()	・通話中に押すと、電話を切ります。 ・着信時に押すと、着信を拒否します。



外部機器をつなげる

ご参考



01 対応メディア・データの仕様

再生できる圧縮ファイルと対応メディア

以下の表に「○」が表示されているデータは、再生できます。

<音楽ファイル>

音声形式	ファイル拡張子	CD-R/RW	DVD ± R/RW
MP3	mp3	○	○
AAC-LC ※	m4a	○	○

※ DRM : Digital Rights Management (デジタル著作権管理) システムの AAC ファイルや
プロテクト録音 (ライセンス管理) された AAC ファイルは再生できません。

再生できる圧縮ファイルの仕様について

音楽ファイル



操作の前に

- 再生可能なファイル容量は、1 ファイルにつき 2GB までです。

■ MP3 ファイル

フォーマット	MPEG1 Audio Layer Ⅲ、MPEG2 Audio Layer Ⅲ
サンプリング周波数 (kHz)	・ MPEG1 Audio Layer Ⅲ :31/44.1/48 ・ MPEG2 Audio Layer Ⅲ :16/22.05/24
ビットレート* (kbps)	・ MPEG1 Audio Layer Ⅲ : 32 ~ 320 ・ MPEG2 Audio Layer Ⅲ : 8 ~ 160
チャンネルモード	ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

※ VBR (可変ビットレート) に対応しています。



ワンポイント

- 安定した音質で再生するために、96 ~ 192kbps の固定ビットレート、44.1kHz のサンプリング周波数ステレオのチャンネルモードを推奨します。

■ AAC ファイル

フォーマット	AAC-LC (AAC Low Complexity)
サンプリング周波数 (kHz)	11.025/22.05/24/32/44.1/48
ビットレート* (kbps)	16 ~ 320
チャンネルモード	ステレオ、モノラル

※ DRM : Digital Rights Management (デジタル著作権管理) システムの AAC ファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) された AAC ファイルは再生できません。



対応メディア・データの仕様

タグ情報

次の表に「○」が表示されているファイルには、タグ情報と呼ばれる付属文字情報を入力でき、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。

タグ情報		ID3				
		Ver.1.0	Ver.1.1	Ver.2.2	Ver.2.3	Ver.2.4
入力できる項目	TITLE	○	○	○	○	○
	ARTIST	○	○	○	○	○
	ALBUM	○	○	○	○	○
表示できる文字		英数字：ASCII 日本語：Unicode				

ディスクの仕様

次のディスクを再生できます。

項 目	種 類	内 容
サイズ	12cm	—
CD	音楽 CD	 の表示があるディスク
	CD-R/RW*	  の表示があるディスク - 再生できるデータの仕様については以下をご覧ください。 - 再生できる音楽ファイルについて (→ P.63) - ファイルフォーマットについて (→ P.63)
DVD	DVD-VIDEO	次のロゴマーク表示があるディスク   : 地域番号 (リージョンコード)
	DVD-R/RW*	  の表示があるディスク - ビデオモード、VR モードで記録し、ファイナライズ処理をしたデータのみ再生可能 - CPRM 対応 - 再生できる音楽データの仕様については次をご覧ください。 - 再生できる音楽ファイルについて (→ P.63) - ファイルフォーマットについて (→ P.63)



対応メディア・データの仕様

項 目	種 類	内 容
DVD	DVD+R/RW※	・   の表示があるディスク DVD+R DVD+ReWritable ・ ビデオモード、VR モードで記録し、ファイナライズ処理をしたデータのみ再生可能 ・ 再生できる音楽データの仕様については次をご覧ください。 ・ 再生できる音楽ファイルについて (→ P.63) ・ ファイルフォーマットについて (→ P.63)

※ インクジェットプリンタでレーベル面を印刷できるディスクは使用しないでください。
ディスクを取り出せなくなるおそれがあります。

再生できないディスクについて

次のディスクは故障の原因となりますので、使用しないでください。

- ひびがはいったり、変形したりしているディスク
- シールやテープ、ノリが付着しているディスク
- ハート形など円形以外の特殊形状のディスク
- ディスク保護用のアクセサリ（スタビライザー、保護シール）や CD ラベルを使用したディスク
- 音質向上や防振用のアクセサリ（CD リング・プロテクターなど）を使用したディスク

ディスクのファイルフォーマット

■ ディスクフォーマット

フォーマット	CD-ROM MODE1、CD-ROM XA MODE2 (Form1)
書き込み方法	ディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス

■ ファイルフォーマット

ファイルシステム	ISO9660		UDF
	LEVEL1	LEVEL2	2.01
フォルダ名 (最大文字数)	半角 8 文字	半角 31 文字	半角 32 文字
ファイル名 (最大文字数)	8.3 形式	半角 31 文字	半角 32 文字
表示できる文字	英数字 : ASCII		英数字 : ASCII 日本語 : Unicode
最大ディレクトリ階層	255 (Root フォルダを含む)		
1 枚のディスクに 書き込み可能なフォルダ数	349 (Root フォルダを含む)		
1 枚のディスクに 書き込み可能なファイル数	2478 個		

※ 拡張フォーマット (ROMEO/JOLIET) N/A



ワンポイント

- CD-R、CD-RW は、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。



Bluetooth の仕様

動作確認済みの携帯電話の機種については、
ECLIPSE ホームページをご覧ください。
「お客様サポート」→「Bluetooth 携帯電話適
合情報」([https://www.denso-ten.com/jp/
eclipse/support/](https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/))

対応 Bluetooth 仕様 / プロファイルについて

ハンズフリー

Bluetooth 仕様	Bluetooth Specification Ver.4.0 以上
-------------------------	---------------------------------------

Bluetooth Audio

Bluetooth 仕様	Bluetooth Specification Ver.4.0 以上
-------------------------	---------------------------------------

02 知っておいていただきたいこと

本機で使用するデータについて

- 本システムではエラーコード等の情報を記録しています。取得したデータは当社ナビの品質向上の為に利用する事があります。
- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。
- 本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。
- 地図データ更新時に必要な場合などを除き、本機以外の製品で地図専用 microSD カードを使用しないでください。データが破損するおそれがあります。

免責事項

- 地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。
- 地図データの誤字・脱字・位置ずれ等表記又は内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- 地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。
- 本機を使用中にメディアや機器のデータなどが消失した場合、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- 次のような場合、補償はいたしかねますので、予めご了承ください。
 - 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電気的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録された地図専用 microSD カード内のデータ等が変化・消失した場合。
 - お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、地図専用 microSD カード内の地図データや基本プログラム等が変化・消失した場合。
 - 本機の故障・修理に際し、お客様が記録された地図専用 microSD カード内のデータ等が変化・消失した場合。

※本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。



再生時の注意事項について

- 寒いときや雨天のときは、本機内部に結露が発生することがあります。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD 読み取り部のレンズに結露が発生することがあります。このような場合は 1 時間ほどそのままの状態で放置することで結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じるとプレーヤーは自動で停止します。画面のメッセージにしたがって操作しても動かない場合は、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

液晶パネルについて

- 液晶画面に直射日光が当たると光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

電装品の使用について

- 本機の近くで強力な電氣的ノイズを発生する電気機器を使用すると、その影響で画面の乱れ、タッチ操作不能、雑音などの異常が発生する場合があります。その場合、電気機器を遠ざけるか、ご使用を控えてください。

例) インバータ、イオン発生器など

Bluetooth 機器使用上の注意事項について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

2.4 FH1

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。変調方式として DSSS 方式、OFDM 方式、FHSS 方式を採用しています。

想定干渉距離は 10m 以下です。

この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。



操作の前に

- 本機は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。本機に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは直射日光をさけ、必ずケースに入れて保管してください。ディスクが変形して、使用できなくなるおそれがあります。
- 記録面に触れないように持ってください。ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。
- ディスクが汚れた場合は、市販のディスククリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。
- 新しいディスクには、センターホールや外周部に "バリ" があることがあり、そのまま使用すると、正常に作動しない場合があります。
ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。

個人情報を消去する方法について

- 転売時など個人情報を消去する場合は、工場出荷時の設定(初期化)にしてください。
- ※ 工場出荷時の設定にすると全てのメモリがクリア(初期化)されるため元に戻すことができません。(→ P.34)



03 お手入れについて

本機のお手入れについて

- タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。汚れをおとす場合は、柔らかい布（シリコンクロスなど）で軽く押さえるようにして拭いてください。布の上からであっても爪などの硬い物で強くこすらないでください。
- 汚れがひどい場合は、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ペンシンやシンナーなどの揮発性のある薬品やツヤ出し剤は使用しないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

アンテナのお手入れについて

- 掃除をする場合は、タオルや柔らかい布などで軽く押さえるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。



ワンポイント

- アンテナ部からコードを取りはずさないでください。
無理に取りはずすと動作できなくなり、再使用もできません。
- コードのコネクタ部分に力をかけないでください。

04 バッテリーの交換について

バッテリーの交換について

⚠ 重要

- 本機やバッテリーを取り外した場合、下記表の通り、本機に保存されている情報が初期化されます。
車の点検やバッテリーの交換をおこなう際はご注意ください。

初期化される情報

項 目	初期化される内容
音量設定	・ 操作音 ON/OFF ・ ナビ音量 ・ AV 音量
システム画質調整	バックライトの設定値
音設定	・ イコライザー ・ ラウドネス ・ BAL/FAD
ラジオ	・ 受信モード ・ プリセット情報
電話 (ハンズフリー)	Bluetooth ON/OFF
その他	・ 時刻 ・ ラストモード復帰



商標について

- SD Logo is a trade mark of SD-3C, LLC. miniSD logo is a trademark of SD-3C, LLC. microSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC. SDHC logo is a trademark of SD-3C, LLC. miniSDHC logo is a trademark of SD-3C, LLC. microSDHC logo is a trademark of SD-3C, LLC.



-  is a trademark of DVD Format / Logo Licensing Corporation.



DOLBY
AUDIO

- Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



Bluetooth®

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。
Xi'an Egar Intelligent Technology Co., Ltd は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- VICS リンクデータベースの著作権は
(財) 日本デジタル道路地図協会、
(財) 日本交通管理技術協会が有しています。

- VICS および本機に付与された  のマーク・ロゴタイプは一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- その他記載されている会社名・商品名等は、各社の商標および登録商標です。

著作権について

- 本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- MP3/AAC ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどをおこなうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。



修理に関するお問い合わせ

本機の修理は、販売店にて受け付けています。保証期間中は、保証書に記載の保証規定にもとづいて無料で修理いたします。

製品に保証書を添えて申し込んでください。

- 保証期間は、同梱の保証書でご確認ください。
- 保証書は、販売店名や購入日の記載を確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間が過ぎている場合は、有料で修理をお引き受けしています。
- 出張による修理や点検はおこなっていません。
- 製品の機能を維持するために必要な " 補修用性能部品 " は、製造打ち切り後も最低 6 年間は保有しています。



ワンポイント

- 修理や点検の際にかかる本機の取り付け / 取り外し費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。

メールでのお問い合わせ

お客様サポートページに記載されている注意事項を確認してから「お問い合わせフォーム」にアクセスし、必要事項を記入のうえ、送信してください。

- 「お客様サポート」→「お問い合わせ」
(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/inquiry/agree.html>)

故障とお考えになる前に

使用環境や設定の問題で、本機を操作できない場合があります。また、故障ではなく製品自体の仕様である可能性も考えられます。ECLIPSE のお客様サポートページには、よくある問い合わせ内容をまとめた「FAQ」を準備しています。

修理や点検を申し込む前にお客様サポートページの内容をご確認ください。

「お客様サポート」→「FAQ」(<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/>)

VICS・ITS スポットの お問い合わせ先について

- VICS 車載機の調子や使用方法、受信の可否に関して
 - 地図表示（レベル 3）の内容に関して
 - VICS 情報の受信エリアや内容の概略に関して
- これらの内容のお問い合わせは、
お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- 文字表示（レベル 1）の内容に関して
 - 簡易図形表示（レベル 2）の内容に関して
 - VICS の概念、サービス提供エリアに関して
- これらの内容のお問い合わせは、
VICS センターお客様相談窓口までご連絡ください。

【窓口】 VICS センターお客様相談窓口

【電話番号】 0570-00-8831

（PHS、IP 電話等を除く）

【受付時間】 9:30 ～ 17:45

（土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）

【FAX 番号】 03-3562-1719（24 時間受付）

【URL】 <https://www.vics.or.jp/>

ホームページからも連絡先をご覧ください。

連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・
休止することがありますのでご了承ください。

- VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、ホームページでご覧いただけます。
- なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。



07 仕様

< GPS アンテナ >

寸法	32.7 (W) × 15.3 (H) × 36.4 (D) mm (突起部を除く)
重量	約 70g
電源電圧	3.3 ± 0.5V
消費電流	12mA 以下

< ディスプレイ >

液晶パネル	7 型
画素数	1,152,000 画素 (800 (H) × 480 (V) × 3)
有効画素率	99.99% 以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス方式
バックライト	LED

< ラジオ >

受信周波数	・ AM522 ~ 1,629kHz ・ FM76 ~ 95MHz
実用感度	・ AM33dBμV (S/N20dB) ・ FM10dBμV (S/N30dB)
周波数特性	55 ~ 15,000Hz (FM)

< CD ・ DVD >

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.1% (0dB, 1kHz)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz
S/N 比	80dB (1kHz)
ダイナミックレンジ	70dB (1kHz)

< 地上デジタル TV >

受信チャンネル	470 ~ 710MHz (UHF : 13 ~ 52ch)
インピーダンス	50 Ω
アンテナ	5V

< 接続端子 >

USB 端子	ビデオ出力レベル	映像 NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCA ピンジャック)
	端子形状	Type A
	充電電流	最大 1.5A

※ スマートフォンの充電ができます。

※ 音楽再生はできません。

<共通部>

高調波歪み率		0.05% (0dB / 1kHz)
周波数特性		20 ~ 20,000Hz
S/N 比		80dB (1kHz)
定格出力		16W × 4 (1kHz、歪 1%、4 × 4 Ω 負荷)
最大出力		MOS-FET 42W × 4
適合負荷インピーダンス		4 Ω (各チャンネル)
電源電圧		DC12V (9 ~ 16V) アース専用
動作温度範囲		-20℃ ~ +65℃
保存温度範囲		-30℃ ~ +80℃
消費電流		・ 0.5W × 4 出力時約 2.5A ・ 最大約 10A
外形寸法	AVN-LS04	・ 横幅 178mm ・ 高さ 100mm ・ 奥行 158mm
	AVN-LS04W	・ 横幅 205.5mm ・ 高さ 104mm ・ 奥行 160.8mm
質量 (重量)	AVN-LS04	約 2.72kg
	AVN-LS04W	約 2.81kg

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。



アルファベット

AUX.....	46
Bluetooth オーディオ	47
機器の接続	47
操作画面	48
Bluetooth 機器の設定	26
機器の接続を切る	27
機器のペアリング	26
接続する機器の変更	27
登録した機器の削除	27
DVD.....	39
VIDEO モード	39
VR モード	41

あ

オーディオ.....	36
Bluetooth の仕様	68
再生できないディスクについて	66
再生できる圧縮ファイルと対応メディア	62
再生できる圧縮ファイルの仕様	63
ディスクの仕様	65
オーディオの設定変更	22
DVD 初期設定の変更	23
テレビのホームプリセット設定	22
お問い合わせ先について	76
音楽ディスク	37
音質の調整	24
BAL/FAD（音量バランス）の設定	25
イコライザーの選択	24
音量の設定	20
オーディオの音量調整	20
スイッチの操作音設定	21
ナビ音声の設定	21
音声案内の音量調整	21
ハンズフリーの音量調整	21

か

画面の設定	18
角度の調整	18
画質の設定	18
二画面で表示	19
背景の設定	19

言語の設定	33
故障とお考えになる前に	76

さ

仕様	78
初期設定	13
ステアリングスイッチ	58
設定	29
設定画面	15
設定の初期化	34

た

ディスプレイの設定	18
角度の調整	18
画質の設定	18
二画面で表示	19
背景の設定	19
テレビ	42
機能スイッチの操作	44
緊急警報放送（EWS）を受信した場合	42
こんなメッセージが表示されたときは	42
番組を選ぶ	43
見る	43
電話をかける・切る・受ける	53
着信中の操作	54
通話中の操作	54

は

バックカメラ	56
ガイド線の調整	28
ハンズフリー	50
着信中の操作	54
通話中の操作	54
電話をかける・切る・受ける	53

ま

メニュー画面	14
--------------	----

ら

ラジオ	36
-----------	----

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、

お買い求めの販売店または株式会社デンソーテン「お客様相談窓口」までお願い致します。

株式会社デンソーテン「お客様相談窓口」

通話料
無料

0120-022210

携帯電話・PHS からもご利用になれます。

受付時間 午前 9：30 ～午後 5：30（土・日・祝日・弊社休業日を除く）

お客様サポートサービスのご案内

製品情報や各種適合情報をご確認いただけます。

<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/>



取扱説明書（PDF 版）のご案内

取扱説明書はホームページからもご確認いただけます。

■ 取扱説明書（PDF 版）

本書を PDF 形式で閲覧・ダウンロードすることができます。

<https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/manual/>



株式会社デンソーソリューション

〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町 1-1